

## ○プログラム（コース）名：老年病科専門医支援コース

## ○プログラムの概要

老年医学的な視点に立った知識、技術、実行力を身に付けた老年病科医を育成することを目的とした後期臨床研修プログラムである。具体的には、高齢者の病態を考慮した診療、例えば1) 多臓器疾患が多い、2) 個人差が大きく、症候が非定型的である、3) 慢性に経過し、治療に対して抵抗性を示す、などの若年・壮年者とは異なる特有の病態生理を理解し、この目的を達成するために必要な高齢者診療の基本を学ぶ。原則として、内科的疾患を有すると思われる75歳以上の高齢者を対象とするが、特に脳血管障害や認知症、神経変性疾患を含む神経系疾患、高齢者者の循環器、呼吸器、消化器、血液、内分泌・栄養・代謝系疾患を扱う。

## ○年度毎の研修内容

1年目	老年病科(6ヶ月)	総合診療科 (2ヶ月)	老年病科(4ヶ月)
2年目	老年病科(6ヶ月)	学内選択研修(6ヶ月)	
3年目	老年病科(6ヶ月)	東京医大関連病院選択研修(6ヶ月)	
4年目	老年病科(6ヶ月)	希望科目(6ヶ月)	
5年目	老年病科(6ヶ月)	希望科目(6ヶ月)	
6年目	老年病科(6ヶ月)	希望科目(6ヶ月)	

ただし、研修内容は固定したものではなく、研修医の要望などに応じて随時変更する可能性がある。

## ○週間スケジュール

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
AM	9:00	老年病科朝礼 (8:00-8:30) 病棟	病棟	老年病科 教授回診 (9:00-12:00)	病棟	老年病科朝礼 (8:00-8:30) 病棟	病棟
PM	13:00	病棟	病棟	物忘れ外来	病棟	病棟	
	17:00		18:00 院内講演会 症例検討会 医局会	脳画像 カンファレンス		研修医セミナー (17:00-18:00)	
	19:00						

研修医セミナー(60分程度のミニレクチャー)

1. 脳血管障害の画像診断
2. 脳梗塞の急性期治療と再発予防
3. 高齢者の輸液
4. 頭痛、めまいの鑑別診断
5. 老年症候群への対応
6. 意識障害の診断と鑑別など

## ○取得できる資格

日本内科学会認定内科医、日本老年医学会認定老年病専門医、日本神経学会認定神経内科医師専門医、日本脳卒中学会認定脳卒中専門医、日本老年精神医学会専門医など

## ○プログラム終了の評価・認定方法

上記に掲げた専門医、認定医を取得することによってプログラム終了と評価します。

○処遇・待遇

- ・ 初期の3年間は後期研修医として月額20万円が支給されます。当直を行った場合には1回につき9800円が支給されます。
- ・ 週1回(半目ずつであれば2目)の院外勤務が可能です。これに対する給与は勤務先から支給されます。
- ・ 健康保険、厚生年金、労災保険に加入します。
- ・ 4年目以降の処遇に関しては、病院の規定に従います。

○その他

- ・ 日本老年医学会や関連研究会などで症例報告や論文投稿などに積極的に参加できます。
- ・ 画像カンファランスや洋書の輪読会などを通じてレベルアップを図ることができます。
- ・ 教育出張や研究出張を通じて臨床能力の向上や研究活動に参加することができます。